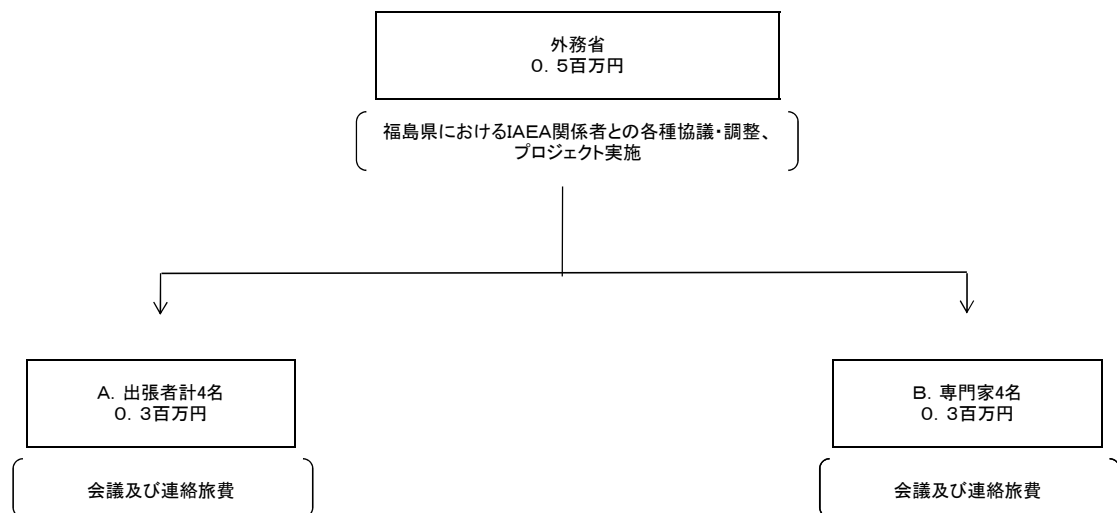


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	福島県における協力プロジェクト実施			担当部局庁	軍縮不拡散・科学部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度			担当課室	国際原子力協力室			室長 別所 健一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標Ⅱ：分野別外交 具体的施策Ⅱ-1-8：原子力の平和的利用のための国際協力の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	福島県におけるIAEAとの協力プロジェクトを実施。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成24年12月15日、福島県郡山市で開催された「原子力安全に関する福島閣僚会議」に際し、福島県と国際原子力機関(IAEA)の間で「東京電力福島第一原子力発電所事故を受けた福島県とIAEAとの間の協力に関する覚書」が署名された。同覚書に基づき、IAEAとの間で、福島県における放射線モニタリング及び除染、人の健康、並びに緊急事態の準備及び対応の分野において、各種協力プロジェクトが実施されている。これらプロジェクトのうち、緊急事態の準備及び対応の分野の協力については、当省とIAEAとの間で署名された実施取決めに基づき、福島県において研修を実施予定である。これらのプロジェクトの実施に際し、関係者との協議・調整等、プロジェクトの実施支援を行うための経費。								
実施方法	■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	0.5		
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	-	-	-	0.5		
	執行額		-	-	-				
	執行率(%)		-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)
	成果目標は福島県との協力プロジェクトの円滑な実施。成果実績のはかり方は、福島県において開催される研修への参加者数。			成果実績	参加者数	-	-	-	60
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	26年度活動見込
	福島県におけるIAEAとの協力プロジェクトに関する関係者との協議・調整等、プロジェクトの実施を支援する。			活動実績 (当初見込み)	回	-	-	-	-
				-	(-)	(-)	(8)		
単位当たりコスト	67,600(円/1回)			算出根拠	福島県出張旅費合計(総経費540,800円)÷8回=67,600円				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費		-	0.3					
	委員等旅費		-	0.3					
計		-	0.5						

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	東京電力福島第一原発事故の経験と教訓を世界に共有することにより、国際的な原子力事故や放射線の緊急事態における準備と対応能力の強化に貢献することは我が国の責務であり、優先度は高いと言える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	本件事業については、プロジェクト実施支援のために必要な最低限の職員が出張するための経費として使用する。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	福島県で国際的な原子力事故や放射線の緊急事態における準備と対応能力の強化に関する研修を実施することは、東京電力福島第一原発の経験と教訓を世界に共有する点において、効果的である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件事業については、IAEA事務局及び関係機関とも緊密に調整の上、国内外で関心の高い原子力安全の向上に貢献する事業として、その実施について真摯な検討が行われてきている。					
外部有識者の所見						
－						
行政事業レビュー推進チームの所見						
	適切かつ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	－	平成23年	－	平成24年	－

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※金額については、ブロック毎に百万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しておりません